The 10th Annual Meeting
of
The Japanese Society
of
Immunotoxicology

第10回 日本免疫毒性学会学術大会

会期:平成15年9月25日(木)、26日(金) 会場:グリーンホール相模大野(相模原市文化会館) # 毎川戦相機原市相様大野4-4-1

演題·蘇克斯語申込締切:7月31日(米)

PAR: http://www.shoyaku.ac.jp/j-home/eisel/JSIT2003 #7:II

elsel@ac.shoyaku.ac.jp

■ 2000 日本 2000 日本

(当日各2,000円増)

プログラム

特別議済

「適位要因と環境要因の相互作用:アレルギー疾患をモデルに」

白川太郎 京都大学大学院医学研究科教授

記念シンホシウム

「免疫毒性研究の進展と課題」

基別講演 大沢基保 日本免疫毒性学会会员

シンボジウム

1.「化学的質過級症」

(1)パイオ医薬品の毒性評価と副作用」

ワークショット

「医薬品に関する免疫毒性評価法の国際課和」、「抗原性試験の課題」

~ 65 (01)

口頭またはポスター発表。

口頭免疫は1湯間当たり免疫時間10分、対益時間5分

100 1 9月25日(米) 18:10~19:50

事員会費5,000円(自日7,000円)

事務局:由和東科大学衛生化学研究室

〒194-8543 米京都町田市東王川学園3-3165

Tel & Pay : 042 - 721 - 1563 | e. mail - eiseidhac shevaku ne ir

|主 催:日本免疫寄性学会 | 協 賢:日本トキシコロジー学会

....